

# 「志(ビジョン)の回復」

～安息の家～

マタイ16:15~19 II歴28:1~29

イエスはペテロに「あなたは誰か？」と質問をしました。

## 1 歴代28~2

「ダビデ王は立ち上がってこういった私の兄弟たち、私の民よ。私の言うことを聞きなさい。私は主の契約のため、私たちの神の足代のために、安息の家を建てる志を持っていた。私は建築の用意をした。」(ダビデがソロモンに残した遺言)

忙しい中に安息と志を失うと仕事は苦しい作業になってしまう。アダムとイブも目の前のものに目を奪われ自分を失い罪を犯し、エデンから追放され苦しんで糧を受けなければならなくなっていました。

あなたでない違うあなたが動くとき全てを壊してしまいます。しかし、本当のあなたが動けば回復するのです。それは、あなたが神様から任された管理者だからです。

神はあなたを元に戻したいと思っています。「あなたが地上で繋がるならそれは天でも繋がれている。」

## 1 歴代28~3

「しかし神は私に仰せられた。あなたは私の名のために家を建ててはならない。あなたは戦士であって、血を流してきたからである。」

ダビデの願いは神の家を建てたいその思いに感動したが、それを許可しなかった。ダビデは大事業をしたが私は建築の用意をただけと知っている。神はソロモンを祝福したのでなくダビデに免じてソロモンを祝福していました。

「主は志をたたせ、事を実現させる。」  
仕事も志を持たないと作業になり神の

物となくなくなり仕事はうまくいかなくなる。いつもその志を忘れずに神に仕える。

我が子ソロモンよ。今あなたはあなたの父の神を知りなさい。神はすべての心をさぐりすべての思い向かうところを読み取れるからである。もしあなたが神を求めるなら神はあなたご自身を愛し表される。もしあなたが神を離れるなら神はあなたを永久までも退けられる。

自分が安息の場である事を忘れない

あなたが神の前に出てあなたの名前が回復しあなたのアイデンティティーがわかると元気になる。すると作業だった仕事が作業でなくなりあなたにとってそれが生きがいになるのです。生きがいになるとあなたの人生の計画書がたっていきます。そして完成するまで待てるのです。神に聞き喜びすすんで行いましょう。それは神があなたを好きでだからです。

人はうわべを見るが神は心を見る。もう一度、神様と話をしてみてください。何かを恐れて自分の人生にある呪いをとってもらうために何かを犠牲にすることが神を知ることではありません。

その方は既にあなたのために自らのあり方を全て捨てて、あなたの全ての痛みを背負われた。その方は、私の代わりにあなたを豊かになれる。あなたは喜んでいなさいと私に帰れと言われる。神のもとに言い訳せずに帰りましょう。必ずわかる時が来ます。神は天に帰るその日を見えていますから。

(要約者:小根久保 伸彦)

(11月12日)